

# ***ITC JAPAN REGION***

**2013-2014**



# Vol. 32 No.3 July 2014

## 目 次

### Table of Contents



今期のテーマ	1	2013~2014 Theme
年次大会基調演説 (日・英)	2~3	Annual Conference Keynote Address
公式訪問者からのメッセージ	4	Message from ITC Official Visitor
役員からのメッセージ	5	Message from Officers
委員長からのメッセージ	6	Message from Committee Chairs
リージョンサポートビューロー報告	7	Region Support Bureau
日本リージョン役員会年次報告	8	Annual Report
会則決議審議結果	9	Report on the Bylaws
講演	10	Lecture
教育セッション報告	11~13	Training Session Report
教育ミニ講座報告	13~14	Mini Lecture Report
CMT, TPP, ショートコーストレーナー 報告	15	CMT, TPP, Short Course Trainer's Report
スピーチコンテスト (日)	16	Speech Contest (J)
スピーチコンテスト (英)	17	Speech Contest (E)
ライティングコンテスト	18~19	Writing Contest
大会写真	20~21	Conference Photo Album
次期役員指名委員会/次回年次大会案内	22	Next Term Officers / Next Conference
PREM 活動の成果	23	PREM Activity with Success
今期盛り上がったカウンスル会合	24~27	Our Special Council Meetings
ごちそうさん	28~29	Bon Appetit!
追悼の辞	30	Memorial Address
編集後記		Message from Editor
ITC 宣誓、リージョン声明文		ITC Pledge & Mission Statement

# ITC日本リージョン第32期テーマ Japan Region Theme 2013-2014

## スマートにITC *Sophisticated ITC*



第32期日本リージョン大会  
リーガロイヤルホテル光琳の間 エントランスデコレーション

## ITC Theme 2013-2015 *"The Right Choice"*

正しい選択

## 年次大会基調演説

第32期日本リージョン会長 今井 京子（リーガロイヤル・光琳の間に於いて）



小菅あけみ Div. IV 副会長を公式訪問者にお迎えし、そしてマーガレット・サザランドとスザンヌ・シフレット元 ITC 会長お二人のご臨席、これは長い日本リージョンの歴史にとって初めてのことと思われま

す。さて、今期テーマは「スマートに ITC」英語「Sophisticated ITC」を掲げました。私は 8 カウンシルと無所属クラブ・バイリンガル西条と日本リージョン全てを巡りました。会員皆様は私の想像以上に「スマートに ITC」・「Sophisticated ITC」でありました。どうかこの光り輝く皆様おひとりおひとりで「One+One」「一人ひとりが広告塔」「あなたが ITC の大使」「あなたが ITC Ambassador」、これは Caroline Kennedy 大使みたいでカッコいいですね、ITC 会員増を頑張っていただきたく思います。

FtB 最新号の ITC 会長 Val Harper のご挨拶の中に「パワートークのピンを身に着け、パワートークの名刺とパンフレットを手元に用意して、エレベータースピーチが出来るように準備しておきましょう。」とありますが、これは日本リージョンが発信したものと同じです。

Val Harper 会長についていえば、大会誌 5 ページにお祝辞をいただいております。

日英共に上から 3 行目に「日本リージョンの会員として、皆様がおおいに誇りに思っていることがあります。それは各役員が、見事な手腕でお役目を果たし、組織の未来にとって良い影響をもたらすような活動に会員を導いていること、そして誰もが会長テーマ『スマートに ITC』、大会テーマ『実り多く』

を目標としてその達成のためにしっかり活動をしていることです。」と書いてくださっています。

会長が日本リージョンを高く評価して下さっているのが分かりました。本当に役員一同、今期というよりも、日本 Region の未来に目を向けて頑張りました。

今期は、「ITC 内部を整えて、魅力的な例会を持つ」ことを目的としてきました。会員増には、まず地盤固めが大切です。クラブ会長を初めとして会員皆様が頑張ってくださいましたお蔭で今期は例年に負けない会員増加となりました。真にありがたく思います。

第 1 回カウンシル会合訪問の時に、高木彬子 PREM 委員長と共に、全カウンシル PREM 委員会と会合を持ちました。カウンシルがうまく運営されていることが現在の日本リージョンでは Key Point です。そしてカウンシル内の少人数クラブに会員を増やすことが、カウンシルにとって最も重要なことです。8 名のカウンシル会長は今期、実に見事にそれぞれの任務を果たしていただきましたので、感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、昨日は観光委員会主催の宝塚観劇が行われました。私は宝塚市に住んでいますので、よく観劇します。宝塚歌劇は今年 4 月に 100 周年のお祝いをしました。

若く美しい女性が歌、ダンス、お芝居など努力に努力を重ねて勝負します。先日入学式がありましたが、今年の競争率は 26.6 倍でした。ITC も Communication と Leadership の Training を重ねて、75 周年を昨年ハワイでお祝いをしました。こちらは人生経験を重ねた魅力で競争率 26 倍はさて置き、Full Member を目指し、そして将来は目出度く 100 周年をお祝いしたいものです。

## KEYNOTE ADDRESS

(Translated by Secretary)

We are extremely happy to welcome two former International Presidents, Margaret Sutherland and Suzanne Shiflet. It's probably the very first time in the long history of Japan Region to have top officers together for the Conference. Also we Japanese members are very proud of having Ms Akemi Kosuge, Division IV Vice President, with us as an official visitor.

Region president theme for the term is "Sophisticated ITC". I've so far visited all the councils and clubs in the Region. I realized how sophisticated our members are, even more so than I expected. I really hope each one of these sophisticated members will make an effort to recruit at least one new member, following the idea of the "One plus One" project. Each one of us should be an advertiser for our organization. Yes, you are what we call "Ambassadors of ITC" Just like Ambassador Caroline Kennedy.

Cool! Isn't it?

In the latest issue of FtB, Val Harper writes as follows;

**Make sure you wear your POWERtalk pins, have some POWERtalk business cards and brochures handy and have your elevator speech ready.**

This is exactly the same as what Japan Region encourages our members to do.

President Val highly esteems our Region. The board members have tried to do their

best for the present term and for the bright future of our organization as well.

One of our goals was "To make our organization strong and make club activities more attractive." We need to strengthen the base of our organization for recruiting new members.

Thanks to great effort of our members, membership number have grown as same as usual year.

This term, the PREM Committee Chair Ms Akiko Takaki and I had a meeting with each Council PREM Committee after its first Council Meeting.

The presidents of all 8 Councils did a really great job and so I was lucky to do a job as Region President with ease.

Yesterday there was a wonderful event planned by the Sightseeing Committee. It was a visit to Takarazuka Theater to see its Revue.

Takarazuka celebrated its centennial anniversary of Revue this April.

We had 75<sup>th</sup> anniversary last year in Hawaii in commemoration of the ITC foundation. We're looking forward to celebrating our ITC centennial year with all members.



# ITC 第32期日本リージョン年次大会 公式訪問者メッセージ

ITC Div. IV 副会長 小菅 あけみ

- ① 今期、**国際役員会**はハワイ大会の後の役員会を含めて、通常会議を2回、サイバー会議を3回開きました。今年度はIMS移転に伴う諸事情が軌道に乗るまで、今までになく課題の多い年で、ほとんど毎日ウェブサイトでの意見交換が活発に行われています。
- ② **テーマとミッションステートメント** 「正しい選択」。高い水準のコミュニケーションとリーダーシップスキルを通して、地球規模での自己啓発のチャンスを与えること。
- ③ **会員** 今期アイスランドリージョンのSula Clubと、NZリージョンで学生クラブがチャーター。会員数は5月現在2580人、228クラブです。(IMSに会費納入済みの数) 一方で退会の会員がいますが、ディビジョンIVは増えています。
- ④ **国際から刊行物4種** FtB役員会便り・パワーライン(会員獲得アイデア)・パワートーキング(ITC内外PR用)・キア オラ タイムス(世界大会ニュース)
- ⑤ **外部に向かっては** **ショートコース**(新入会員獲得)・**ウェブサイト**・**ソーシャルメディア**(FacebookやウェブでのITC紹介が増えています)  
**内部に向かっては** **メンタリング**(今期資格認証の一つに、メンタリングが加えられました。クラブ活動の充実と会員成長のためにクラブで活用してください)・**資格認証**(自分の成長のために、特に新入会員には効果的)・**マスターマニュアル**(使いやすい教材を検討中)・**メンバースポットライト**(記事を募集中)・**ターゲット20**(会員数20%増加や、会員が20名になること、または重複会員を除いたクラブ会員数が2倍になること。一年間の国際会費免除のくじ引きの対象となります。クラブ会員数が2倍になれば、くじなしで一人分会費免除。申請はクリスマスエンドウ次期会長まで)
- ⑥ **危機管理** 創立75年たったITCには、**時代に沿った変化**が必要で、とくに若い人をも増やす努力が望まれています。
- ⑦ **2014-2015年度** 国際会費の値上げがハワイ大会で決まりました。皆様のご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。
- ⑧ **2015世界大会** NZのロトルアは素晴らしい景色に囲まれた温泉のある自然豊かな会場。成功のカギは会員の皆さんの参加です。現在会員の半数以上が、英語を母国語としていない会員ですが、来年のロトルア大会では、会場の表示も日本語を入れたり、ワークショップの翻訳の計画案も出ています。今から出席の計画を立て、是非皆様、ご一緒にご参加ください。



**Report from the ITC Board Aug.2013 - May 2014 Akemi Kosuge Div. IV VP**  
5 Board meetings (2 in-person, 3 skype). President Theme and Mission Statement. Sula club in Iceland Region and Zenith club in NZR were chartered. FtB / POWERline / POWERtalking / Kia Ora Times. Toward outside of ITC: Short Course, Website, Social Media. Toward ITC members: Mentoring, Accreditation, Master Manual, Member Spotlight, Target 20. Contingency Plan. Dues for 2014-2015. 2015 Rotorua Convention

RCLO

石丸 和子

### 今期 CLO としての一年間活動報告及びメッセージ

今期の主な活動は、

1. 国際 CLO からのメール (FtB, POWERlines, POWER talking Magazine, 種々の情報など約30通) 受信とリージョン会長への転送
2. リージョンメールなどリージョンからの情報を各カウンスルに配信
3. リージョン会報の国際ウェブページへの掲載依頼

の3点であり、極めて単純なものでした。しかし、最初は色々なトラブルに遭遇し、パソコンという現代の利器が結構魔物であることも体験しました。機種により添付資料が届かない、開かない、文字化けするなどの問題。リージョンメールを事務局→クラブから RCLO →カウンスル→クラブに変更したが故の混乱。リージョン会報の国際ウェブサイトへの掲載遅れなど。到底「スマートに RCLO を」とはいきませんでした。ただ、カウンスル CLO の皆様とのやりとりを楽しめ、ITC で現在進行中の出来事をいち早くキャッチできる機会を持てたことに感謝したいと思います。

議会法規役員

加藤 玲子

議会法規役員は、「議事運営手順の事柄について会長やその他の役員、委員会、会員に助言を与えるコンサルタント」ですが、今期、全ての役員会に出席し、役員会が扱う事柄の幅の広さと多さを改めて感じました。多くの役員、委員会が、1年間という時間では、客観的に現状を観察して現象を認識することに時間を取られ、問題点の指摘、原因分析や対策案の検討、今後の発展を助ける業務にまで進めないことに、もどかしさを感じているように思いました。問題点の改革・改善にはいろいろな視点から取り組みますが、「次につなげること」「もっと深めること」ができるシステムがあってもいいように感じました。また、会則・決議委員会に出席し、会則について多くを学ぶ機会もありました。

ITC での「学ぶ楽しさ」は、一人ではなく、意見交換をしたりアイデアを出し合ったりする「仲間と共に学ぶ楽しさ」であり、それが継続できる力であることを再確認した1年でした。

PREM 委員長

高木 彬子

ITC 日本リージョンの更なる繁栄のためには、クラブの活性化が先決であると、委員会は心を一つにして、役割を推進しました。

まず、現状を理解するために、カウンスルの PREM ミーティングを実施、理想と現実の差異が生れる原因を探究しました。

第二にそこから得たものが沢山あるなかで、私たちは、常にゴールを意識した人たちがチームが構成されているということ为解决の優先課題としました。

第三に、その強い組織を形成するには、個々の感性のみに頼るのではなく、仕組の必要性を感じ、委員会のやるべきことの具現化にとり組みました。

私たちは、ITC の創設の精神を基に、多様性や柔軟性を許容し、生きいきとコミュニケーション力を磨き合い、楽しく学ぶクラブをゴールに描いています。今期まいた種が、少しずつ芽が出はじめたところです。どうか会員の皆さんの力で水をやり、育て、来期につなげていただきたい、それが幸いです。

プログラム・教育  
委員長

遠藤 美与子

### 今期プログラム委員長として一年間の活動報告

日本リージョン内各レベルのプログラム・教育の向上を目指して懸命に努力しました。今期のスタートと同時に始まった年次大会の準備が主な活動ですが、リニューアルしたサポートビューローの委員会規定作成と実行、大会の教育セッション5部門、新企画の教育ミニ講座4部門、全体講演1、大会冊子作成で、あっという間に一年が終わりました。年次大会には ITC 歴の異なる人、地理的に距離の異なる人が一堂に会します。全員の希望を叶える事は無理ですが、年次大会ならではの教育を企画したいと委員会で検討を重ね、今期教育セッションは申込み者全てを第一希望通りとしました。役目上、初日の CMT のみ参加の会員もありますので、初日には国際レベル、リージョンレベル、クラブレベル、ITC と一般生活にも役立つ4部門をミニ講座として企画したら想定外の150人が受講となりました。急遽会場を変更した為、音響に不都合がでたのは残念でしたが、現在の ITC には、会員が今受けたい、今知りたいと望む、時代に合った教育を限られた日程内に提供する必要があるのではと考え、会員のニーズに合わせたプログラム・教育を実行しました。リージョン初のバズセッションにも挑戦し、チームワーク力抜群の委員会メンバーの全面的協力で今期の目標に向かって活動し、実践できました。

## リージョンサポートビューロー活動報告

プログラム・教育委員長 遠藤 美与子

日本リージョンサポートビューロー（RSB）として名称・内容をリニューアルしてスタートしました。委員会は広範囲の会員で構成されている為、委員会規定内容検討に少し時間がかかり、スタートが遅れました。その為、各カウンスルでは年間会合プログラムが既に決定して利用申込みが少なかったことは否めません。

- ① 派遣対象は、カウンスル単位とし、クラブの場合は合同か、40人くらいの会合
- ② 申込み希望に添って委員会がリーダーを選ぶ。（出来るだけ距離的に近い会員、また遠い場合は委員会規定に従い交通費を支払う）
- ③ 今期は3回のリーダー派遣を行ないました。

	日付	派遣先	派遣リーダー	参加人数・所要時間・テーマ
1	2013年 12月16日	カウンスルNo.2 プレム委員会主催 オリエンテーション	松本 敬 (豊中クラブ)	60名 50分 「ITC を楽しく学びませんか」
2	2014年 4月16日	岡山&岡山あくら クラブ	大原 慶子 (岡崎クラブ) ITC トレーナー	49名 90分 「会員増強を目的とした ITC の PR」
3	2014年 5月17日	六甲クラブ	海老原 あかね (しらさぎクラブ) ITC トレーナー	45名 105分 「スピーチ Before-After」

委員会ではそれぞれ担当委員を決めて依頼先へ出席し、双方から報告書を受理しました。今期はプログラム委員会に ITC トレーナーズリーダー特別委員長の小菅あけみディビジョンIV副会長が所属されていたので両委員会が協力してリーダー派遣を行いました。依頼者、サポートビューロー、派遣リーダーの三者がコミュニケーションを取り、目的に向かって努力する過程はお互い良い経験になりましたし、参加者と共に学ぶ機会をプロデュースするという委員会の役割を果たすことができました。リニューアル後、サポートビューローという名称ではスタートしたばかりですが、CMT で各カウンスル第一副会長にサポートビューローの内容を説明しました。今後は更に内容を検討してカウンスルやクラブ会員にご利用頂けるよう引き継いで頂ければと思っています。



## 第32期 ITC 日本リージョン役員会年次報告

2013年8月1日～2014年7月31日

第32期リージョン書記 黒柳 美紀子

第32期日本リージョン役員会は、日本リージョン声明文、会則・条規及び役員会方針に基づき、日本リージョンテーマ「スマートにITC」のもと、二つの目標「会員の維持と増強」「ITCを今一度せんたくいたし申候（組織を正しく整える）」を掲げ、今期の活動を行った。

### 1. クラブ数・会員数の状況

日本リージョンは、8カウンスル、無所属クラブを含む79クラブ、会員1,243名でスタートした。

5月31日現在 78クラブ、会員1,287名である。

### 2. 研修会報告

- ① カウンスル運営研修会（CMT）は2014年6月2日10部門で行った。
- ② Training Power Pack（TPP）は、6月2日公式訪問者小菅あけみディビジョンIV副会長により行われた。
- ③ 年次大会の評価は6月4日大会終了後、公式訪問者により、32期リージョン役員、議会議法規役員及び大会準備委員長を対象に行われた。
- ④ 評価後、同じく公式訪問者により、日本リージョン新役員を対象に Region Management Training（RMT）が行われた。

### 3. 主な活動

- ① 役員会は議会議法規役員出席のもと、定足数をもって9回開催した。  
また必要に応じて、別途メールによる意見交換を行った。
- ② 役員は8カウンスルすべての第一回会合に公式訪問をして、リージョンの方針を伝えた。
- ③ リージョン会報の発行は年3回とし、現在までに第1号、第2号を発行、全会員に配布した。第3号は7月発行予定である。
- ④ リージョンメールは6月現在までに9回配信した。
- ⑤ 国際から隔月に配信される FtB は、日本語訳をつけクラブに配信、同時にリージョンウェブサイトに掲載した。またウェブマガジン POWER*talking* 誌その他国際からの配信物は適宜翻訳委員会に翻訳を依頼した。
- ⑥ 会長は国際委員会にリージョン会長報告書を3回提出した。
- ⑦ リージョンはすべてのカウンスルと連携し、会員維持増強を目標に活動をした。
- ⑧ 外部に向けてPRをするという役割を託して、特別委員会「トレーナーズリーダー委員会」を設置した。委員会は6月2日トレーナーの研修及び検定を行った。
- ⑨ リージョンサポートビューローは、クラブ、カウンスルからの講師派遣の要請に応じ講師を派遣し、活動のサポートをした。
- ⑩ 年次大会ではCMTのあと、4つの教育ミニ講座を開催し多数の会員の参加を得た。
- ⑪ カウンスルが主催した高校生スピーチコンテストの助成を行った。

第32期日本リージョン年次大会は2014年6月2日、3日、4日の3日間の日程で大会テーマ「実り多く」のもと、リーガロイヤルホテル大阪に於いて開催された。

## 日本リージョン会則修正案の審議結果

会則・決議委員長 沖田 道子

第32回日本リージョン大会でのリージョン会則の審議結果は下記です。(修正箇所は下線部分)

### 修正案1 可決

9.2.4.g. 意図を反映させるために必要な場合、意味を変更する結果にならなければ、条項および項目の表記、句読点および参照をなおし、その他適応させるための校正上の変更をする権限が与えられる。

### 修正案2 修正されて可決

14.4. 緊急条項：大会と大会の間で決定が必要である場合、あるいは大会が開催されない場合の緊急時に、開封確認要求付きの電子メールまたは郵便による投票で修正案の表決を行うことができる。この場合修正案はそれが有効となる日付の60日前までに、各所属クラブの CLO のメールアドレスまたは会長の最終記録の住所宛に送られる。その議題は所属有資格クラブから受け取った回答の 2 / 3 の賛成投票によって採択される。

### 修正案3 可決

5. 選出役員
  - 5.1. 選出役員
    - 5.1.1. リージョン選出役員は会長、次期会長、2名の副会長、書記及び会計とする。
    - 5.1.2. 役員は任期中、正会員または無所属会員の地位を維持するものとする。
    - 5.1.3. リージョン役員の任期中には、国際レベルにおいて選出役員を兼任することはできない。



ただ今審議中



## 講演 「変動帯に暮らす」

京都造形芸術大学学長 尾池 和夫氏

プログラムリーダー 立石 峯子（京都）



地震学者である尾池和夫氏を講師にお迎えして「変動帯に暮らす」というテーマでご講演いただきました。

私たちが住んでいるこの日本列島が、類まれなる条件を備えた変動帯であることを、地球科学的な視点からその成り立ちや特徴について解りやすく教えていただきました。

地震、火山、津波がつきものの変動帯、しかし変動帯であるからこそ生まれた四季の移り変わりと、数々の美しい俳句などの季語や感性溢れる文芸作品、そして海や山の多くの自然の恵みをうけて私たちは暮らしてきたのだというを思うとき、私たちはその大切な宝物についてもっと深く考え、それらをもっと大切に行かなければいけないと強く思いました。

また、大地の生い立ちを現地で学ぶ「ジオパーク」のこと、「見る・食べる・学ぶ」ことが出来る「ジオパーク・ツーリズム」の楽しみや意義も学ぶことが出来ました。現在日本には33か所のジオパークがあり、そのうち洞爺湖有珠山、糸魚川、山陰海岸など6か所が世界ジオパークネットワークに登録されています。是非いちど自分の足で現地へ行き、実際に見て、味わって、学んで、「ジオパーク・ツーリズム」を楽しもうではありませんか。

私たちは自分の住んでいる大地や、地球や、宇宙のことをもっともっとよく知り、理解し、しっかりと認識しながら暮らす必要があるのではないのでしょうか。地震が怖いからといって他の国に逃げて行く気はない私たちは、やはりこの国を愛し、この国が好きなのです。

これからもずっとこの「変動帯」に暮らして行くからには度胸を据えて、地震や津波対策のリスク管理もおさおさ怠りなく、「変動帯に暮らすことを楽しみながら」過してまいりたいと思います。

親しみやすい動物とのコミュニケーションの話題から誘導され、講師のスマートなお人柄に魅せられて知らず知らずのあいだに地球科学の話に引き入れられた一時間半でした。

講師からのお達は「コーヒー、居眠りはOK、けれど'おしゃべり'は厳禁」ということでしたが、心配は無用でした。最後まで静粛に講師のお話に聴き入り、居眠りをした人や、おしゃべりをした人はおそらく一人もなく、大変実り多い有益な講演会でした。

## 教育セッション 報告

### A 「雑談力」の鍛え方

落語家 林家 染二氏

プログラムリーダー 加茂 巳都里（淡路）

この講座には260名の申し込みがありました。

会場の皆さまが期待を膨らませている中、講師の林家染二氏は着物で出てこられました。雑談に無い物として、「目的 要件 利害 責任 立場 オチ テクニク 勝負」の8つ、そして、有るものは「心地よい気持ちにさせる 言葉のおもてなし」です。常にアンテナを張って、共感する話題（天気など）を提供するのが雑談の極意で、女性には天性の才能があるそうです。



また、落語家も発声法や、滑舌法を訓練しているとおっしゃられ会員と共に大きな声で発声しました。そして、寄席のトリの演目といわれる上方の人情と笑いを盛り込んだ落語「子別れ」を演じていただきました。講演では笑いや発声法と和やかに、落語は涙を誘う人情話に、皆引き込まれていました。とっても楽しい教育でした。

### B 「伝統文化を通じて沖縄を知ろう」

舞踏家 武島 久美子氏

プログラムリーダー 釜田 陸子（しらさぎ）



私にとってリージョンでの PL は大役で責任が重いと感じていました。

沖縄に関しても余りにも知らな過ぎで、これではいけないと思い下調べを致しました。琉球踊りの舞台の見学、稽古場の一日体験・沖縄の方言のアクセント・意味等も4～5回沖縄の観光課等に電話をかけ訊ねたり、発音が良いと褒められ喜んだり、歴史なども調べるうちに、だんだん知る事の楽しさを感じるようになってきました。当日は「参加者が程よい人数」と講師の先生が喜ばれていました。ホールには琉球舞踊の衣装が展示され、三線が流れ沖縄ムード満点で、先生の踊りも琉球の歴史に沿い説明を受けながら素晴らしい琉球舞踊を見せて頂き、又全員で踊りの指導を受けたり、衣装も希望者全員が手を通し写真を撮ったりとても和やかに進行致しました。私 PL も思いの外何の気負いもなく楽しく出来た事は会場の雰囲気そうさせてくれたと思っています。貴重な体験をさせて頂き有難うございました。

## C 『あなたをより美しくする上方の「笑い」』 上方文化評論家 福井 栄一氏

プログラムリーダー 山本 陽子（松江）

『あなたをより美しくする上方の「笑い」』

「この“より”と言うところが大事なんですよ」と、いきなり私たちを笑いの世界に引き込まれました。

「最初に笑ったのは誰？」と、笑いの歴史から入られ、会員は先生の「一挙手一投足」に釘付けにされました。法学修士と云う、固い肩書をお持ちの先生ですが、世界初の上方文化評論家として沢山の著書も出版されています。

豊かな笑いの文化を育み、育てて来られた上方の地で、笑いの数々を豊富な実例と共に楽しく紹介をされました。分かり易いようにと、古くから伝わる上方独特の言葉あそびに、ジェスチャーを交えられ、会場が一つになって相槌を打ったり、笑い転げたり、とても楽しいひとときでした。この講演で笑い、アタマとココロのコリをほぐされ、笑うことで皆様は、より美しくなられたことでしょうか。これからも、シャレ言葉、なぞかけで、国語力や言語センスを磨いて行きたいと思いました。



## D ～人生をスマートに生きよう～ 「シルバーマネーはゴールド？」

税理士 正木 隆行氏

プログラムリーダー 長谷川 充子（堺東）

100名を超す受講者を迎え、会場は大変活気づいた雰囲気の中、パワーポイントを使っての講演は大変わかり易いものでした。

良く通る講師の声と、手元にはレジュメも用意され、行き届いた準備の中でしっかりお話を聞くことが出来ました。

相続や税金の問題は誰もが遭遇する事ではあるものの、人それぞれと敬遠しがちですが、実際に

お話を聞き、この問題はお金ではなく、生き方や人生哲学に関わるものということに気がつきました。具体例や、最新情報を交えたお話には大変惹きつけられるものがあり、あっという間に時間が来てしまったというのが実感です。終わった後にも熱心に質問する会員に、丁寧にお答え下さっている講師の姿が印象的でした。先生からいただいたエンディングノートに早速書きだしてみようと意気込んでいる私です。



E

## “Elevator Talk” 「30秒メッセージ」

元ITC国際会長  
Ms Suzanne Shiflet

プログラムリーダー 清水 香（筑波）

参加者 約50名



「30秒メッセージ（言いたいことを上手に伝えるには）」と題したセッションが、米国オクラホマ州出身のスザンヌ・シフレットさんにより英語で行われました。シフレットさんは、1993～1994年に国際会長を務められただけでなく、国際大会開催のエレベータスピーチ2011（30秒でITCを紹介するスピーチ）の優勝者6名のお一人でもあ

るベテランで、盛りだくさんの内容が巧みに盛り込まれた、非常に内容の濃いセッションとなりました。前半は30秒メッセージをつくる技術が、用意された具体例を出席者が読み、シフレットさんがそれを解説するという、出席者と講師のリズミカルな掛け合いで進められ、楽しく自然とポイントをつかむことができるように構成されていました。後半は実際に30秒メッセージをつくる作業でしたが、こちらも難しい内容ながらも、講師の指導力と参加者のレベルの高さで、50名近い参加者のうち半数以上が自作のメッセージを発表するという活発さでした。次はきっと、参加者がクラブに戻って、習得した技術を伝えて下さることでしょう。

## 教育ミニ講座 報告

## 1 「ITC 国際の財務を知る」

リーダー 石川 恵悟（名城、東葛）

専門用語と数字が並んだ財務諸表のどこに注目すべきかを、問題点を抽出したグラフを用いて解説しました。説明が進むにつれて、皆様の表情が変わっていくのがよく分かり、多くの意見・質問を頂戴しながらの、活発な90分間となりました。世界大会での様子や国際財務の内情についてのご発言もあり、議論が一層引き締まったことを感謝しております。“最大株主”の日本リージョンは、国際の財務を今後一層注視し発言していくべきだ、との結論で幕を閉じました。



ITC 国際の財務状況の現実に正面から向き合った思いでした。財務をお任せしすぎていたのでしょうか。夢も現実も、是非一緒に考えて頂きたいと思いました。講座は、大変分かりやすく、問題点をはっきり提示されていました。

渡邊 春代（岡崎）

## 2 「クラブ会計の実務」

リーダー 事務局長：武内 浩子（甲南）、経理部長：大仲 聡子（堺東）

久しぶりにリージョン大会で講座のリーダーを務め、30年近く前のリージョン大会でのワークショップは会員がすべてやっていたこと、また新人に近い私がリーダーを強制的に務めさせられたことを思い出しました。

リーダーを務めるとなるといってもリーダー本人の勉強になります。終わってから参加者の皆様にお役に立ったのかが気になりはしますが。

クラブ会計の仕事は実務をしながら覚え、また疑問が一杯出てきます。従ってこのような会計のための講座は今後とも必要かと思えます。

参加者の貴重なご意見を聞かせていただき、リーダー冥利に尽きました。



ITCに入会するとききれいになる！入会時の説明です。女の人達でこれだけの事ができる。きちんとした会計の説明がありました。諸々の活動を支えるクラブを有資格にする。日頃ご無沙汰のITC会則も身近に致しましょう。

堂下 滯子（京都）

## 3 「ウェブページをつくってみよう」

リーダー コンピューター部長：加藤 玲子（名古屋）

当初の計画では、「少人数で顔をつきあわせながら、それぞれがお持ちの疑問、質問に答えながら個別指導に近い形で・・・」と聞いていましたが、

大きなスクリーンに画面を映し出して、ウェブページの仕組みから始まり、拡張子、HTMLの記述、CSS、index.html等、ウェブページの具体的な例を作成しながら、理路整然と説明されました。初心者にとっては、大変高度な難しい内容でした。

山内 昌子（東京）

予想以上に多くの方のご参加いただくことになったため、こちらから一方的に説明

することが中心の講座となりました。また、時間の関係で概要に近い話だったので、今後しばらくの間は、参加された方からの個別の疑問、質問に答えてフォローを続けたいと思っています。



## 4 「簡単!ファイル整理を手伝います」

リーダー 椎名 真子（堺東）



ITCでは沢山の書類があり増える一方です。自分スタイルで作成した入会以来のプログラムの冊子、両面テープを張り製本テープで本にしたクラブの議事録、カウンスルニュースレター、リージョン会報誌、便利な収納BOX等を見ていただきました。すぐにする、分類分けをする、置き場所を決める事が整理のポイントです。受講して下さった皆様の参考になればうれしい事です。

リーダーの見事な「書類整理術」伝授を41名の受講会員はしっかり受け止めました。音響的には隣講座との二重奏。そんな中でも、熱心に講座は進められ、予測通りの成果を得たと感じました。即座の順応力もITC会員共通の大いなる力だと実感致しました。

喜多 邦子（六甲）

## 第32期日本リージョン年次大会CMT報告

次期会長 中島 由美子

日 時：2014年6月2日(月) 13:10~14:30

場 所：リーガロイヤルホテル大阪2Fペリドット

研修部門：会長・第一副会長・第二副会長・書記・会計（事務局経理部長）・議会議法役員・資格認証委員長・会則・決議委員長・スピーチコンテスト委員長の10部門

参加者数：104名

大会1日目に32期日本リージョン役員が8カウンスル次期役員と常任委員長にCMTを行いました。今期は公式訪問者小菅あけみ様、元ITC会長Margaret Sutherland様、Suzanne Shiflet様が特別参加されました。

来期のカウンスル役員が任務をスムーズに行えるよう、今期のリージョン役員はしっかりと資料を作成し、来期のより良いカウンスル運営が出来る事を願って研修を行いました。各部門のリーダーから事前に資料のメール送信を通じて、よく読んで来てもらう事にした為、時間短縮と事前に読むことでいくらかの知識を持って参加された結果、来期に向けての問題について活発な話し合いが出来た有効な研修でした。

## 第32期日本リージョン年次大会TPP報告

坂口 正子（大阪）

TPP (Training Power Pack) は「和解のキス」のテーマで公式訪問者小菅あけみ ITC Div. IV副会長により行われました。TPPは国際レベルがリージョン大会及び世界大会で行う研修会です。今期のTPPは紛争 (Conflict) とその解決法のワークショップでした。最初にリーダーは紛争をどう考えるかをフロアに問いかけ、紛争に対する意識を確認することから始めました。紛争をチャンスに変える方法を丁寧に順序だてて説明し、事例を示しながらその解決策を述べました。その後、紛争解決ワークシートに提起されたもめごとを各テーブルで議論し、テーブル毎の解決策を、会員達は即興スキットで披露しました。ユーモア溢れるスキットは会場の笑いを誘いました。リーダーはユネスコ憲章の言葉を引用して『「平和の砦を心の中に作りなさい」皆様ならきっと“Kissing Cheeks”『和解のキス』ができると信じています』の言葉で締めくくりました。

「紛争をチャンスに変える方法」を学び、家庭や職場、グループ、ITCなどでぜひ活用したいと思いました。感動と感銘を受けたTPPでした。終了後、泉和子フェローオブITCの寸評がありました。

## ショートコーストレーナー研修報告

柴田 ひさ（サンデー）

リージョン大会でのショートコーストレーナー研修と試験は大会第一日TPPの後に開催されました。日本リージョンには現在、18人のトレーナーがいます。今回は8人のトレーナーがTen Tipsを用いて5分間の発表を行い、それに対して3分の評価を受けました。

日本リージョンでは、国際役員、ディビジョンIV副会長の小菅あけみさんが、トレーナーズリーダーをされています。彼女を通じて日頃トレーナー達の活動状況はメールにて、共有してはいるものの、年に一度のトレーナーが一堂に会しての研修は貴重な機会でした。この1年間、日本各地で実施した体験を下敷きに、各自が持ち寄った材料が勉強の資料となりました。

発表直後に評価をもらいつつ、直にやりとり出来るのは互いにとって学びの多いものでした。トレーナー達の選んだ内容は、Ten Tipsの中の「評価」「メモの使用法」「上手な聴き方」「効果的な声の使い方」「マイク」「社会へのネットワーク」でした。トレーナー達は自分の癖を再発見出来たし、率直な意見交換は新鮮で、その場で直ぐに応用しながら会は進められ、和やかな雰囲気の中で学習しました。

夕食を挟んで引き続き5人のトレーナー候補者が籤引きで貰ったモジュール1から5をやはり5分で実演し、3分の評価を受け取りました。初の志願者もいれば、再挑戦の会員もいました。今回貰った評価を毎月のクラブ例会での訓練で活かし、ITCブランドが外に向けてどんどん歩き出すきっかけづくりをして欲しいものです。

# スピーチコンテスト

第32期日本リージョンスピーチコンテスト委員長 鎮守 康栄

日・英夫々およそ2時間のスピーチコンテストで今期も又たわわな実りを豊かに収穫できました。スピーチににじみ出たコンテストの人柄にじかに接し、さり気なく表現された苦労とその克服に思わず涙したり、決意に同感したり、心動かされるひと時を会場一杯の聴衆が共有しました。この日のために精進を重ねたコンテストは勿論、役割担当者、スピコン委員一同も企画、実行を通してこの上も無く有意義なトレーニングを受け、豊かな実りを収められたと確信しています。

## 日本語の部

プログラムリーダー 江原 恭子（しらすぎ）

	氏名(クラブ)	カテゴリー	論題	題目
1位	川崎 邦子(岡山)	説得する	多様性	行け！と逃げろ！
2位	川端 恵美子(米子マNDER)	楽しませる	ドア	鍵
3位	長谷川 亜莉(大阪)	楽しませる	出会い	病室のおばちゃん

### 優勝者スピーチ(要約)

論題：多様性 題目：行け！と逃げろ！



解決策を第一に考える男性と、まず共感してほしい女性。ものごとに対する考え方の男女の違いはもって生まれたものであると言われています。でも家庭の平和を保つためには、お互いの違いを認め合うことが必要で、すべての人々が多様性を持って生きていることを忘れてはなりません。

「我は行け 夫は逃げろと声あげる 豹がガゼルを襲う一瞬」(2008年のNHK全国短歌俳句大会で大賞受賞) 豹がガゼルに追いつき鋭い爪を立てようとしたその瞬間、奥様は豹になって「行け！」ご主人はガゼルになって「逃げろ！」と。何十年も連れ添って価値観が同じであるはずの夫婦でも、一つのものを見て全く正反対の立場に立つこともあるのです。他人同士では、感じ方が違って当たり前。ですから世の中には人の数ほどの意見があるといっても不思議ではありません。皆さんは行け！と言いますか、逃げろ！と言いますか。私は行け！行け！と言うタイプです。

学生時代イギリスの家庭にホームステイをし、子供たちとにぎやかに庭で遊んでいました。お隣のサラという少女に「おいで遊ぼうよ」と言いました。ところがサラは家に引っこんでしまったのです。私が「おいで」と思ってしたしぐさをサラは「あっち行け」という意味にとったらしいのです。一つの動作が国によって全く異なる意味を持つことを忘れてはならないと二十歳の私は肝に銘じました。

人々は年齢、性別、職業、宗教、国籍など様々な違いをもって生きています。このような人々の持つ多様性があるがままに受け入れることが大切です。世界中で様々な争いが起こっていますが、憎しみは決して未来には繋がりません。互いの多様性に対する寛容さこそが争いの解決の糸口になり、和解につながります。夫婦の間でもお互いの違いに寛容になればきっと楽しい夕食になるはずです。


 英語の部
 

プログラムリーダー 筆本 美智子 (梅田)

	氏名(クラブ)	カテゴリー	論題	題目
1位	小寺 恵子(柏)	Inform	Sound	Achieve Peace in Silence
2位	早田 典子(安芸)	Persuade	omotenashi	A Seed of Peace
3位	川島 泰子(クリスタル神戸)	Persuade	Life	Be Conceited!

### 優勝者スピーチ (要約)

**Subject : Sound (音)**

**Title : Achieve Peace in Silence (静寂の中で心の平穏を)**

I've always desired to be a person who can stay calm and accept things as they are whatever happens. But the truth is I'm a person who gets upset easily and overreacts. I'm often filled with imaginary fears.

The other day, I came across a Buddhist monk talking about zazen. According to him, negative feelings come from an unstable state of mind, and zazen is effective for acquiring a stable mind. So I decided to experience zazen. I sat in the lotus position and repeated slow abdominal breathing in the silence. After practicing zazen, my body felt light and my mind was relaxed.

Hundreds of studies have been done on the benefits of zazen, such as:  
It improves your ability to control your emotions.

It increases immune function.

If you're overwhelmed with too much stimulus in modern life, why don't you shut out the noise and practice zazen? I hope this will bring you inner peace and improve your quality of life.



私は常々、何が起ころうと、冷静にありのままを受け止める事の出来る人間になりたいと思っています。しかし、実際は、すぐに動揺し、過剰反応をしてしまいます。取越し苦労することもしばしばです。

先日、ある僧侶が、悲観的な感情は心の乱れから生じ、その心を安定させるには、座禅が有効である、と説いていたので、早速、体験することにしました。静寂の中で、蓮華座を組み、深い腹式呼吸を繰り返していると、次第に心が落ち着き、終了後は、心身が軽くなっていました。

座禅効果については、感情をコントロールする力を高める、免疫力を高めるなどの研究結果が発表されています。もし、現代社会の様々な情報により心が不安定になる時は、雑音をシャットアウトして、座禅を組んでみませんか？ 座禅が、皆さんに心の平穏をもたらし、生活の質を高めることができたなら、幸いです。

## ライティングコンテスト

フィクション部門：松本 敬（豊中クラブ）



### Fairy tale for my granddaughter "Taro and Jiro in Shikayama Mountain"

There is a mountain named "Shikayama" in Nagano Prefecture and many animals and plants live there. It is a very suitable place for animals like capricornis crispuses (Japanese antelope), deer, raccoon dogs and foxes to live and plants like oaks and larches to grow.

One day in late summer, a mountain keeper came across two little foxes. Mother foxes are known for taking good care of their own kids and sometimes other kids.

Late summer to autumn, it is the time for parent foxes of "Kowakare -to say goodbye and live separate from their kids-".

Parent foxes start to keep away from their kids sometimes by biting them or punching them with their fist.

These two little foxes he met seemed to be just independent from their parents.

Two little foxes were so cute that he named them "Taro Shikayama" and "Jiro Shikayama". He called them "Taro!", "Jiro!" every time he met them. Taro and Jiro also recognized his face and they stopped for a while saying, for instance "Hello" when they met him.

Taro and Jiro had been fed from their mom and dad, but until then, they had to look for their food by themselves.

They sometimes met a big capricornis crispus and got very scared.

They also had to look for a water source and a place to sleep.

Finally they found a small cave, so they huddled together to sleep the night there.

However, Taro didn't look well one day. He was suffering from a skin disease. His fur had no glow and he gradually lost weight.

They had to take more food and nutrition to be prepared for the coming winter. If this went on, Taro wouldn't be able to survive the winter.

He felt so much pity for Taro that he decided to give some dog food to Taro until Taro got well. Taro ate the food little by little. However, basically it is not good to give food to wild animals, because this may make them not look for their food by themselves.

By taking enough nutrition, Taro's skin and fur got better

and better. By mid-autumn, the peak for snow season was almost there. Taro eventually became fit and could go to a lot more places.

Finally the mountain was covered with snow and the long winter started. The mountain keeper was always worried if Taro and Jiro were doing well in this rugged winter.

After the long winter, the snow began to melt and leaf buds started to sprout. He patrolled the mountain and met one fox. He and the fox looked at each other for a while. It was Taro.

He was so happy to find Taro and called "Taro!" and Taro also came up to him happily. He also walked up to Taro, but stopped. Taro was now in the wild, so he thought it was not good for Taro to have a relationship with humans any more.

Since then, while he was patrolling the mountain, he found Taro looking at him in the distance. He always felt so happy and said in his mind "Take care of yourself and live a long life".

One day, he injured his leg and couldn't walk around the mountain. While he stayed at home, he heard something outside the window. He went to the window with his stick and found Taro was there, looking into the window anxiously.

He was very surprised, opening the window and said "Taro! You came all the way here to see me? I am all right now! Thank you so much! Now please go back to the forest."

After his leg got well, he started to patrol the mountain again.

He now was sure that Taro was always watching for him somewhere.

The mountain keeper always says to children.

"We have to pay full attention not to encroach on their territory because there are so many animals and plants living in the woods.

You should keep in your mind that you will enter their place and thank them for allowing you to enter the woods."

The old man is still patrolling the woods to watch over the nature today. END

### 孫のための童話

#### 「鹿山太郎 と 鹿山次郎」

鹿山を管理するおじさんが二匹の子キツネに出会いました。キツネは子供をととても大切にしますが、夏の終わりに「子別れ」をします。二匹の子キツネは「親離れ」したようです。おじさんは「鹿山太郎」「鹿山次郎」と名付けて見守っていました。

太郎と次郎は自分で水やエサを探し、安全に寝る場所も探さねばなりません。ところが太郎は毛の艶も無く、痩せてきました。おじさんは、体力が回復するまでドッグフードを与えました。本当は野生の動物にエサを与えるのはよくありません。自分で探さなくなるからです。

雪が解け始めたころ、一匹のキツネに逢いました。「太郎！」と言うと近づいてきます。おじさんも近づきかけ、やめました。野生に戻った太郎に「元気であるんだよ。」と心で言いい、森をパトロールしました。

ある日おじさんは足に怪我をして森をパトロールできません。家に居ると窓の外に心配そうに見上げる太郎がいました。「太郎！お見舞いありがとうございます！もう大丈夫だよ。森へお帰り。」

おじさんはいつも子供たちに言います。「森には沢山の動物や植物が生活しているんだよ。山や森に入るときは《ちょっと、おじゃまします》という気持ちを大切にしようね。」

おじさんは今日も森を見回っています。 おわり

## ノンフィクション部門：小菅 あけみ (サンデークラブ)



## A PIECE OF CAKE AT CHRISTMAS

I was watching TV on Christmas eve. On the screen, a father came back home with a box of Christmas decorated cake. He opened the box and his family expected a big round cake, but found the one, a part of which was missing! They were surprised, disappointed and puzzled. Today Christmas is a very popular event all over the world and Japan is not an exception. Christians associate "Christmas" with Jesus, stars and presents etc., while most Japanese (= non-Christians) think that "Christmas" is the day to eat a cake, the specially decorated one. I think the idea of the special Christmas cake came from the confectioneries, like chocolate on Valentine's Day. Usually the Japanese family buy a decorated cake with white whipped cream and strawberries or chocolate coating, instead of baking one at home. Yes, CAKE is very important for Japanese people to celebrate "Christmas".

The rate of Christians in Japan is only 1% or less and I am the one of the minorities. Consequently only few of them know the real meaning and joy of Christmas; the birth of Jesus Christ and sharing the love of God. If you ask Japanese children whose birthday Christmas is, I'm afraid half of them cannot answer correctly.

As a Christian, I have not been very happy about this situation for a long time. But this year is a little different. A confectioner in Tokyo thought what he can do for the hungry children in the world. He cuts off a piece of cake from the whole round cake and decorates them separately. He sells the cake, a part of which is missing, with the price for the whole cake. The money for this piece of cake goes

to the NPO which helps hungry children in the world. He gives people a chance to involve in this sharing project during the holiday season.

This was the NEWS on TV and I found a new aspect of Japanese people in the Christmas season. Although there might not be very many people who watched this good news, I do hope this project will continue next year with bigger success. Coming back to the TV news which I watched, the father went to buy a Christmas cake after work and read a sign in the shop, asking to help hungry children in the world. He willingly paid full amount of the price for the whole cake (actually a part of which was missing). After dinner at home, he explained his family why the cake was not complete round shape and told that there were a lot of hungry children in the world. His wife and three children were listening to him and agreed with him. Their puzzled faces turned into bright ones. They shared the cake happily and I'm sure the cake was much more delicious for them this year. This father seemed to be a Santa Clause to me. He gave children not only cake but a spirit of Christmas.

I feel warmth in my heart and this is what I was looking for in Christmas season. I thought about myself. What is my piece of cake this year?

I remembered some phrases I've learned before.

*"The love in your heart wasn't put there to stay.*

*Love isn't love till you give it away."*

What is your piece of cake this year?

## 一切れのクリスマスケーキ

日本でクリスマスと言えば、プレゼントとケーキが定番ですが、その年のクリスマスイブのテレビでは、心の温まるニュースを報じていました。

東京のあるケーキ屋さんが、世界中のお腹をすかせた子供たちのために、自分にできることは、と考えました。お店に入ってきた勤め帰りの父親は、店の掲示を見て、趣旨に賛同し一部が切り取られているデコレーションケーキを、元の値段で買って帰ったのです。家族の待つ家では、なぜ完全な丸いケーキではないのか、説明しているテレビの画面が移っていました。今まで私はクリスチャンとして日本では本来のクリスマスの意味が理解されていないと思っていましたが、自分にとっての「一切れのケーキ」は何だろうと考えさせられました。あなたの「一切れのケーキ」は何ですか？

## 詩部門：金子 三屋子 (福山クラブ)



## An Angel Is Coming

The morning sky is pink and yellow  
From the faint of light, an angel is coming  
From the behind the pink curtain, a bashful princess peeks  
A yellow carpet is spread out on the floor  
Oh yeah, a little white wing appears  
Finally, the angel comes  
You see, you see, happiness is brought  
Grinning children from the heavens  
From the distance, white clouds appear  
From the blue sky, an angel is coming  
A cool breeze is blowing, a relaxing breath  
Are there any sad children?  
Oh yeah, an angel is cradling a sad child  
An angel is working  
You see, a frown becomes a smile  
A world without gloomy children is created

## 天使は来るの

- 朝 お空を見ると ピンクと黄色  
淡い光の中から天使はやって来る。  
ピンクのカーテン 恥ずかしそうにお日様が覗く。  
黄色のジュウタン引いている。  
あら あら ちらっと白い羽根  
天使はやってきた。  
ほら ほら みんなに幸せ運んできたよ。  
微笑みの神様の子供なのよ。
- 遠いお空を見上げると白い雲なの  
青い空の中から天使はやって来る。  
涼しい風を吹かせ 爽やかに息をはく。  
悲しい子はいないかな。  
あら あら 天使に抱かれてる。  
天使はやってきた。  
ほら ほら泣き顔 笑顔に変わる。  
悲しい子供のいない国にするために。

お疲れ様でした、そして、ありがとうございました

# リージョン大会のひとコマ





## 第33期日本リージョンテーマ

知恵を紡いで、価値ある変革  
“Collect Wisdom & a Valuable Change”

サブテーマ：「頭に栄養、心に滋養」  
“Nutrition in head, nourishment in mind”

## 次期役員・次期指名委員会

### 次期役員

会 長	中 島 由美子	(芦屋・クリスタル神戸)
次 期 会 長	高 木 清 子	(京 都クラブ)
第一副会長	海老原 あかね	(しらさぎクラブ)
第二副会長	大 原 慶 子	(岡 崎クラブ)
書 記	中 村 由紀子	(北大阪クラブ)
会 計	三 木 千 春	(姫 路クラブ)

### 次期指名委員会

委 員 長	高 橋 和 子	(阪 神クラブ)
委 員	森 尉 江	(東 山クラブ)
委 員	小八木 利 子	(南大阪クラブ)

## 第33回 日本リージョン年次大会ご案内

大会テーマ：共に輝こう！ Let's Shine Together！

サブテーマ：“笑顔との出会い” “Meet with a Smile”

開催日：2015年6月4日(木)・5日(金)・6日(土)

場 所：神戸ポートピアホテル

## PREM活動の成果

### ITC カウンシル No.7 倉吉クラブ

#### 新しい会員の増やし方

会長 藤井 豊子

日本の人口の減少と同じように、クラブの会員数の減少は大きな問題です。

さて、倉吉クラブは今期 ITC で一番会員の多いクラブになりました。4月までは38名、現在は37名です。会員数増員の大きな力になった要因を、4つの例で簡潔に述べてみましょう。

- ① 多くの会員が熱心に新入会員を増やす活動をして、会員増加に努力した。
- ② クラブ例会にお客様を多くお招きし、ITC の魅力を知って頂いた。
- ③ 会員が教育・プログラム・委員会活動に積極的に参加し、ITC の魅力と楽しさを感じている。
- ④ ITC 会員が他のいろいろな組織で活躍し、ITC の広報に役立っている。

以上のような活動によって倉吉クラブは仲間を増やしています。また共に成長していくためにメンターのシステムを取り入れて「教えるための学びと教えられる側の学び」でコミュニケーションを深めています。

まずは、ITC の例会への参加が緊張感をもったワクワクした気持ちになる事、例会や委員会活動の後が充実した満足感を得られること、クラブ会員が自分のクラブを好きになる事が一番だと思います。



### ITC カウンシル No.7 鳥取クラブ

会員委員長 吉岡 きよ乃



鳥取クラブでは今期3名の入会者を迎えました。外部からの例会ゲストは16名（延べ数：入会予定者含む）です。きっかけは様々で、日ごろのお付き合いの中からお客様の興味に沿って、例会やイベントにお誘いしました。最初から入会の可能性を推し測るのではなく、楽しく過ごしていただくことに重点を置きました。

具体的な今期のPREM活動としては、

- ① イベントの新聞掲載（スピーチコンテストなど）
- ② クラブ活動のチラシ作成

です。懲りすぎずお金をかけず、シンプルさと親しみやすさを心掛けました。

来られた方から「タイミングのいい時に声をかけてもらった」「年齢に関係なく自己研鑽している姿が心に響いた」「隣に座った会員の印象がよかった」などこれからも参考になる声をいただきました。ゲストの方自身が例会のPRに協力してくださり、「一度は行ってみる価値あり」「勉強になる」と宣伝してくださいました。

会員一人一人が生き生きと活動し、自ら広告塔になれば、一緒に学びたいという気持ちになっていただけたと思います。まずはITC活動に親しみをもってもらおうよう、いつでも、だれにでもWelcome! の姿勢でいたいと思います。

# 盛り上がったカウンスル会合

## カウンスルNo.1

カウンスルNo.1 会長 伊藤 容子



今期、カウンスルNo.1のプログラムテーマは【コミュニケーション“力”アップ】です。

第1回会合では、サブテーマ＜言葉を着替えてみませんか＞とし、講師にナレーター声優としてご活躍の戸谷美恵子氏を講師にお迎えし「相手の気持ちを考えながら状況に合わせた言葉遣いをする事が重要であり、場面に応じて服装を替えるように“言葉

も着替える”ことが大切」と教えて頂きました。またワークショップとして、くじ引きで選ばれた会員による、本の『朗読』も行い、講師から指導を受けました。初見である即興の朗読にもかかわらず、会員の熱演に会場は大いに沸き、質疑応答も熱心に行われ有意義なプログラムでした。参加した会員の感想：「戸谷講師のアドバイスは的を得てわかりやすかった」「鼻濁音、無声化のきれいな日本語が勉強になった」「相手やTPOによって“言葉を着替える”という喩が興味深かった」

第3回会合ではサブテーマ＜あなたの可能性に挑戦しませんか＞として『プレゼンテーション』を取り上げ【コミュニケーション“力”アップ】を目指します。

## カウンスルNo.2

カウンスルNo.2 第一回会合プログラムリーダー 西村 雄子（愛媛クラブ）



PLを務めさせて頂いた第1回会合は忘れがたいものとなりました。久しぶりのワークショップは時代と幸福を考えながら、テーマの「今わたしにできる種まき」を模索するものでした。講師の藤井千里さんによる進行、社会学的な資料の利用や手法は、ワークショップの進め方の大変よい参考となりました。また名言カードを使っ

ての話し合いは大いに盛り上がり、同じテーブルの会員さんのお人柄を知る機会ともなりました。各テーブルからの発表は新しい気づきや価値観の共有ができました。東日本の震災をきっかけに「自分が今できる種まき」は何か？を自身に問いかけるようになったと言う藤井さんの朗読は心に染み入り、最後にもう一度私達に「何ができるか」を考えさせる時間となっていました。身近な幸せを見つめ直すことから、未来に何を残していくのかを考えることができた、まさしくカウンスルの今期テーマ「基本に立ちかえて」に添ったプログラムとなっていました。

## カウンスルNo.3

カウンスル No.3 会長 竹内 邦子



今期一番盛り上がった会合、それは第1回会合です。今期の年間テーマ「素敵にパワーアップ」に相応しい、大きな感動を参加者が共に持ちました。

プログラムは講演&エンターテインメントでテーマを「～律（りち）の調べ～」とし、大阪芸術大学教授でバリトン歌手の三原剛氏、伴奏の遠藤玲子氏をお迎えし、日本歌曲とその歴史を堪能いたしました。特にテーマ「律（りち）の調べ」としたのはプログラム・

教育委員会のかんりのこだわりから生まれた作品でした。「律」と言うのは俳句の秋を表す言葉です。日本歌曲と秋らしさを融合させた選曲を披露していただきました。

90分間、本物の芸術に触れさせていただき、出席者一同、心震わせました。アンコール後の鳴りやまないスタンディングオベーションがその感動を物語ってくれました。本物の芸術の奥深さにふれることが、どれだけ感動を呼び心の豊かさに繋がっていくかを体験しました。それを本気になって、周到に準備してくださったプログラム・教育委員会に敬意を表します。

只今、第3回会合に向けて委員会はチーム力、惜しめない実践力で手作りの作品「近代日本における黎明期の女性達」を準備中です。内容は当日までの企業秘密です。その全貌をお知りになりたい方は是非6月30日(月)神戸ポートピアホテルへお越しくださいませ。お待ちしております。

## カウンスルNo.4

カウンスル No.4 会長 加藤 正枝



カウンスル No.4 第26期第1回会合は元東京女子大学学長 湊晶子先生をお迎えし、「ストレス時代を生きる－ふれない私（人格）の確立を」という演題で講演会を開催しました。

戦前・戦中・戦後を娘・妻・母・大学教師として生きてこられた湊先生。81歳という年齢をまったく感じない先生は背筋をピンと伸ばされ、終始温かい笑顔と力のある言葉でお話しくれました。いろいろなご経験を受容なさってこられた先生から溢れ出る言葉は、奥深く、温かさと優しさに満ちていました。「チャンスは全ての人の頭上にある。つかむ準備があるかどうかによって人生は変わる」「意識を変える。自分色。劣等感の克服。できると信じる。数秒でよい、止まれ、そして深呼吸」などなど。会員のみなさまから、多くの共感とともに「自分の意思や思考を正確な言葉にして伝える事の難しさとともに大切さを思った。」「親しみやすい言葉の中に豊富な人生のキャリアが織り込まれた先生の奥深さに引きこまれた」、湊先生と同世代の会員の方々からは「年齢に関係なくこれからも共に学び続けようと思った」「前向きに生きること年齢は関係ないと改めて考えた」などという感動が多く届き、参加者全員が元気をいただきました。会合後の「湊先生を囲む会」でも笑い声が絶えない時間を過ごしました。

ふれない自分を確立することは簡単ではありませんが、湊先生をお手本に積極的に人生を生きていきたいと多くの会員が思った会合でした。湊先生は今年4月より広島女学院大学の学長にご就任なさいました。No.4との絆が深くなりました。82歳で初めての広島という地に引っ越され、新しい仕事に就かれる先生に私たちは改めて感動をいただいております。



## カウンスルNo.7

カウンスル No.7 会長 野津 寛美



カウンスル No.7 は前期に引き続き、効果的な PREM 活動を行うことを目指しました。会員減少問題を考えることは逼迫した課題です。会員の増強は勿論ですが、会員維持にも力を入れることを重点目標の一つとしました。そこで、第1回会合のプログラムを「会員減少問題 解決への手がかり」と題してパネルディスカッション&バズセッションを行いました。パネルディスカッションテーマは「各クラブの現状を知る」で、各クラブ第二副会長がパネリストを務め、クラブの現状などを発表したのちモデレーターの進行で、パネリスト間で現状の問題点などを話し合いました。その後、パネリストもフロアに戻り、バズセッションを行いました。テーブル毎に4つのテーマ「ITCの魅力」「ゲストを招くアイデア」「ITCの方向性」「社会への発信」に分かれ、意見を出し合いました。ゲストからも貴重な意見が寄せられ、全員が参加して、熱のこもった意見交換ができました。これもモデレーターの豊かな経験と意見集約に関する素晴らしい技量の賜物と感じました。これにより会員一人一人が、更に PREM 活動の重要性に意識が向けられたものと確信いたしました。第1回の会合を通して、改めて ITC の教育プログラムの素晴らしさを再確認した会合となりました。

## カウンスルNo.8

カウンスル No.8 会長・CLO 松岡 美保



今期カウンスル No.8 一押しプログラムは何と言っても第1回会合で行われた「アリとキリギリス」(スピーチ上達のためのワークショップ)です。カウンスル No.8 所属のトレーナー4名によってパワートークショートコース1スピーチの構成と発表、2壇上の態度、3 ボディーランゲージとジェスチャー、4 効果的な声の使い方、5 発表と評価 をたった2時間で学ぶと言う超美味しくお得なワークショップでした。「これまでスピーチコンテストに出るのは億劫だったけれど、スピーチを気楽に作れるようになったのでスピーチコンテストに出場するのが負担で無くなった。」と参加者からも大変好評でした。内容をDVDに保存したりリージョンのホームページに期間限定で掲載していただいたりしました。

ITC のトレーニングを動画で保存できたことは、教育資料を活用するという大きな意味が有ることと自負しております。

# ごちそうさん

## カウンスル No.1 岐阜県飛騨高山

### 朴葉すし

朴葉に酢飯をのせ、一晩酢につけた鮭やきゃらぶき、漬物、シイタケの煮物、ショウガ、シソの実、タケノコなどその家々により好みの具をのせて朴葉で四角くたたみ紐で包んだもの。旧暦の端午の節句によく食される。



## カウンスル No.3 姫路クラブより

### イカナゴのくぎ煮

姫路のスーパーにイカナゴの稚魚が1kg単位で並び、各家庭でイカナゴを炊くいい匂いが漂うと、春が来たと心が躍ります。水揚げされたイカナゴを醤油、みりん、砂糖、生姜、飴などで水分がなくなるまで煮込みます。炊き上がったイカナゴは茶色く錆びた釘に見えることから「釘煮」と呼ばれます。コツは、かき混ぜるとイカナゴが団子状に固まってしまうため一切かき混ぜないこと。ぜひお試しください。



## カウンスル No.2 宝塚クラブより

### 「大豆の塩煮」

材 料：大豆 300g  
塩 小さじ1  
オリーブ油 大さじ1  
乾燥ハーブ 適量（オレガノ、タイム等）

作り方：

- ①一晩水に浸けた大豆を柔らかくなるまで煮る。
- ②コトコト煮る際に出るアクを丁寧ですくい取る。
- ③アクが出なくなったら、塩、オリーブ油、乾燥ハーブを入れ、再び煮込む。
- ④しばらく置き全体をなじませる。
- ⑤仕上げに七味唐辛子をふりかけると味がしまる。

朝食のパンの付け合せに！

小分けにして冷凍が出来るので便利。

## カウンスル No.4 大分県郷土料理

### 「だんご汁」「やせうま」

「だんご汁」は具沢山のお味噌汁に小麦粉ベースのだんごを入れたもの。「やせうま」はきな粉もちのように仕上げたもの。

#### だんご汁 4人分材料

小麦粉 2カップ  
塩 小さじ2分の1  
ごぼう 50グラム  
しいたけ 3枚  
にんじん 50グラム  
里いも 150グラム  
ねぎ 2本  
みそ 100グラム



小麦粉に少しずつ水を加え、耳たぶくらいの固さになるまで手で混ぜ合わす。混ぜ合わせた生地は、直径2cm程に丸めてぬれ布巾をかけ、30分から1時間ほどねかせる。だんごをねかせている間に野菜を切る。ねかせただんごをキューと一握りして、平らな状態から長く、薄く延ばす。沸騰したお湯にだんごを入れ、浮かび上がってきたら出来上がり！

後は、野菜と一緒に味噌汁仕立てにします。

カウンスル No.6  
琵琶湖クラブより

子持ちニゴロブナのお造り

(湖国料理)

ニゴロブナは川魚特有の臭みもなく、美味しいお造り。卵子を湯通しし、冷やしてほぐしてお造りに絡めます。



カウンスル No.5  
徳島県郷土料理

「豆天玉焼き」

人気番組「ケンミンSHOW」にも登場した「豆天玉焼き」。戦後間もない頃から食べられていたお好み焼きで、甘く煮た金時豆が入るのが特徴。この金時豆はちらし寿司の具にも使われています。



カウンスル No.8  
葎崎クラブより

「にらまん」

にらまんは、大判焼きサイズの形も可愛いニラ入りお好み焼きです。生地にはキャベツとニラをたっぷり入れ、中身には、甲州地鶏の味付けそばろと、卵が丸々1個入っているという親子夢の共演のにらまんです。4月に開催された信玄公祭りで、見事「粉もの決戦」で優勝の栄誉に輝きました。



カウンスル No.7  
とっとり砂丘クラブより

「どんどろけご飯」

「どんどろけ」とは方言で「雷」のことです。

豆腐を炒める音が雷鳴のように聞こえることから名がつけました。昔は豆腐はごちそうであり、貴重なたんぱく源でした。

◇材料 4人分

- ・米 3合…30分前に洗い上げておく
- ・木綿豆腐 1/2丁
- ・ゴボウ 50グラム…皮をそぎ、ささがきにしてアク抜きをする
- ・ニンジン 50グラム…小さめのせん切りにする
- ・干しシイタケ 2枚…小さめのせん切りにする
- ・油揚げ 50グラム…熱湯をかけて油抜き、小さめのせん切りにする
- ・ネギ 50グラム…小口切りにしておく

◇調味料

- ・だし汁 3カップ 1/3
- ・薄口しょうゆ 大さじ2杯 1/2
- ・酒 大さじ1
- ・砂糖 小さじ1

【作り方】

- (1) 豆腐は水を切っておく  
※豆腐を適当にくずし水を加えて火にかけ、ひと煮立ちしてからザルにあげたものを炒めると弾力がでて崩れないでコロコロする
- (2) 豆腐をくだいて油で炒め、他の材料も入れて炒めてしょうゆを半量入れて味付けをする
- (3) 釜に炒めた材料を合わせ、残りのしょうゆ、酒、砂糖、だし汁を加えて炊き上げ、炊き上がったたらネギを加えて蒸らす。



全国より様々なレシピやグルメ情報ありがとうございました。  
全部掲載できなくてすみません。ごちそうさまでした!

## 追悼

ご冥福心よりお祈り申し上げます



野田絢子さんを偲ぶ

2014.3.1ご逝去

阪神クラブ 三宮 晶子



3月1日、野田絢子さんは召天されました。

突然の訃報に私達は深い悲しみに包まれました。こんなに早くお別れの日がくるなど誰が想像したでしょう。言い残した事が一杯あるのに、「ありがとう」と感謝の言葉も言えなくて、私達の手の届かない処に行ってしまった。

阪神クラブ会員として40年余り、各レベルの会長はじめ数々の役職を経験され、常に積極的にITC活動に参加されるリーダー的存在でした。

第15代のリージョン会長のとき、事務の簡素化を目指してコンピューターの導入を決議されました。世界のIT化の波をいち早く察知された勇氣ある行動でした。現在ではコンピューターなしのITC活動は考えられませんが、18年前のことでした。そのときの大会テーマ「LOVE」は人を優しく包み込む絢さんそのものでした。

多くのクラブの増設にも熱心に関わられました。近隣のクラブは勿論、飛行機や列車やバスで遠隔地にも参りました。困難と悦びを共に味わった増設活動でした。私のお隣にはいつも絢さんがおられました。舞浜でのリージョン大会とディズニーランドのキラキラと輝く光のパレードが最後のご一緒の旅となりました。

野田絢子さんは信仰心の厚い方でした。病を受け入れ、最後まで毅然とした生き方をされた方でした。今は、神のみもとで安らかな日々をお過しのことでしょう。

葬送式の日のために次の言葉を残されました。

「充実した一日が

幸せな眠りをもたらすように、

充実した一生は幸福な死をもたらす。」

レオナルド・ダ・ヴィンチ

宮本 和代さん (No.5 眉山クラブ) 2014.5.10 ご逝去

山本 光子さん (No.3 舞子クラブ) 2014.1.12 ご逝去



ITC、のぞいてみませんか？何かが見つかります

広がる友情 深まる知識 あなたを変えるきっかけに

ITCはリーダーシップやコミュニケーションの教育・訓練をする非営利組織です

## 日本リージョンウェブサイト（ホームページ） 会員ログインの方法

<http://www.itcjr.jp/>

① <http://www.itcjr.jp/> クリック！

② 会員専用ページ ログイン

ユーザー ID 会員番号

(わからない時は、事務局、又はクラブ会計にお聞きください)

パスワード 会員の姓のローマ字小文字 (例 nihon)

この時パスワード記憶の欄をチェックしておく  
次回からすぐログインできます。

### 編集後記

♥スタイリッシュでソフィスティケートされた会報をめざして、一年間、編集スタッフ全員で頑張っただけではありません。原稿のご依頼を通してたくさんの会員の皆さまと繋がることができました。皆さまご協力ありがとうございました。 横田佳世子

♥スタッフの中の最年長、委員長からの伝令に丁々発止のやり取りで短時間に仕上がっていくありさまをあれよあれよと見守るばかり。PC機能の便利さ、奥深さとスタッフの能力の高さに脱帽の1年でした。 河合 康子

♥思いつくままを言い、感じたままをメールすると、有能な編集スタッフはすぐに形にしてくれる。そんなスタッフの中で、心地よく楽しませてもらいました。 戸塚 幸

♥略30年前に読んだアルビン・トフラーの「第三の波」さながら、編集の仕事も略在宅のまま。続いて時代の波をつくるはあたわずとも、続いて時代の波に乗っていきたいものです。 大池英美子

♥新参者が編集スタッフに、まごまごしながらの1年でしたが、ITCのソフィスティケートなメンバーとふれあい、ITCについても知ることができ、実り多い1年でした。新しい会員の方もぜひトライしてください。 鈴木さとこ



## ITC Pledge

### ITC 宣誓

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

我々インターナショナルトレーニング イン コミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

2013-2014

### ITC日本リージョン声明文

#### *Mission Statement of Japan Region*

ITC日本リージョンの使命は、ITCの目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.